

平成18年10月30日

各位



東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
**石川島建材工業株式会社**

代表取締役社長 藤本 幸男

(コード番号 5276 東証第2部)

(決算期 3月31日)

問合せ先 常務取締役財務部部长

窪田 利通

(TEL. 03-5221-7211)

## 関係会社株式評価損の計上及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

平成19年3月期中間期末(9月30日)において、関係会社株式評価損の計上及び繰延税金資産の取崩しを行う必要が生じたのでお知らせいたします。

### 1. 関係会社株式評価損について

当社が保有する関係会社株式のうち、株式の発行会社の財政状態が悪化し、株式の実質価額が著しく低下したものについて、減損処理による関係会社株式評価損を計上することといたしました。

(A) 平成19年3月期 中間期の関係会社株式評価損の総額	1,865百万円
(B) 平成18年3月期 純資産額 (A/B×100)	11,389百万円 (16.4%)
(C) 平成18年3月期 経常利益額 (A/C×100)	451百万円 (413.5%)
(D) 平成18年3月期 当期純利益額 (A/D×100)	187百万円 (997.3%)

### 2. 繰延税金資産の取崩しについて

当社および連結子会社であるピーシー橋梁株式会社において、繰延税金資産の回収可能性が低下したため、下記の通り当中間期において取崩すことといたしました。

	当社	ピーシー橋梁(株)
(A) 平成18年3月期 繰延税金資産の残高	834百万円	769百万円
(B) 平成19年3月期 中間期の取崩額	680百万円	769百万円

(注) 平成18年3月期 繰延税金資産の残高は、その他有価証券評価差額金に係る繰延税金負債を相殺する前の金額であります。

### 3. 今後の見通し

前述の通り、関係会社株式評価損は特別損失として計上し、繰延税金資産の取崩しは法人税等調整額(損)として計上する予定であります。

なお、平成19年3月期業績予想(連結・個別)につきましては、本日別途開示しております。

以上